

Sakurabito

さくらびと

佐野日本大学高等学校 同窓会 桜友会報

桜友会が発行する「さくらびと」は同窓生をつなぐ、コミュニケーション誌です。



210周年記念



30周年記念演



創立50周年記念式典



創立40周年記



th

Special interview

同窓会創立50周年記念スペシャル対談

次の50年に向かって歩を進める母校。
そして、思い描く未来の夢。

佐野日本大学学園 理事長 浦田奨 / 高等学校 校長 渡邊明男 / 高等学校 生徒会長 武仲琴和 / 同窓会 会長 和田栄一

Special report

創立50周年記念講演会・記念式典・祝賀会

2019
Vol.05

同窓会創立50周年 記念スペシャル対談



佐野日本大学学園
浦田 奨 理事長



佐野日本大学高等学校
渡邊 明男 校長



佐野日本大学高等学校生徒会
武仲 琴和 会長



佐野日本大学高等学校同窓会
和田 栄一 会長

次の50年に向かって歩を進める母校。 そして、思い描く未来の夢。

未来の同窓会「桜友会」の在校生たちへ。
現在と未来を担う同窓生「さくらびと」たちへ。

佐野日大高校の未来へのビジョンと、現在進行中の進化と深化をシェアします。

浦田理事長…本校は、東京オリンピックが開催された昭和39年、石塚の原野に設立されて、今年で54年目になります。

私は教員、和田会長は生徒。同じ1期生として学校づくりに励んできましたが、その時の目標が「北関東一の学校になろう」というものでした。その頃の学校は、あまりにも貧弱だった。だから文武両道を目指した北関東一の学校になろうと。これが我々教員と生徒の合言葉になり、50年を一区切りとしてようやく『北関東に佐日あり』と言われる学校にまで成長しました。

良い学校ができるには「優秀な先生・優秀な生徒・優秀な保護者・優秀な卒業生」この4つが必要だと言われています。ありがたいことに本校は4つの条件がうまくかみ合い、次の50年に向けてさらなる歩み

スタートしています。先ずはこの小さな石塚の地から、日本を引っ張って行くような人材、さらに世界で活躍できる人材を出して欲しいということを、校長先生をはじめ、先生方にお願ひしております。

これは「私の夢」です。先日、経団連の中西会長が、グローバルな人材が欲しいと、話されていたことを耳にしました。本校は、グローバルな人材を輩出するために、海外の学校との交流を継続しています。

渡邊校長…現在は、イギリス、中国、オーストラリア、マレーシア、アメリカの5カ国7校との交流協定を結んでいます。世界に目を向けると、これまではイギリス・アメリカが中心でしたが、今後は中国が主要

国の一つになってくると思います。そこで理事長先生は、いち早く中国の北京市月壇中学と交流を推進してこられました。それがもう軌道に乗っていますね。そして、中国の後には、ASEANに目を向ける必要があります。それを受けて今、マレーシアとの交流も進めています。去年は、高等学校・中等教育学校共にシンガポールへの研修を実施しました。さらに2019年には、ハンガリーの学校と交流協定を結ぶ予定でいます。これから先を考えた時、世界中に飛び出していくバイタリティーを育てるためにハンガリーを選択しました。グローバルな人材を育てるといことは、絶対的な命題だと思っています。

「私は毎回、姉妹校など海外に出て行く生徒さんに同じ事をお願いしているんです。」

「この学校から世界に羽ばたいてくれ!ってね。」



彼は、「佐野日大で早い時期にコンピューターやプログラミングに接することができたお陰で今がある。今後は自分が後輩に恩返しをしたいんだ」と言っていました。さらには、母校で育てたいんだという気持ちを持っているんですね。これは本当に、会長さんをはじめ同窓会の力だと思っています。

生徒たちには、AIやIT分野の第一線で活躍する卒業生の力を借りて熟知させるのですが、ある意味、これからの時代はそれだけではなく、AIの対極にある「人間らしさ」をしっかりと身につけなければならないと思っています。人と人とのコミュニケーションや学び続ける意気込みとか、そういったものをしっかりと高校時代に身につけさせたい。様々な本物を体験することで、豊かな人間性を身につけさせたい。この思いがある訳ですね。



私も、様々な体験をすることができました。生徒会の活動もそうですし、将来、自分の力になってくれると実感しています！



時代が要求すると同時に時代を先取りするという教育が、佐野日大を大きく飛躍、発展させた要因のひとつだと思っています。いつの時代も先へ、先へと考えてきたということですかね。先を見据えた教育を...施設の整備もそうですし、教育現場の先生方も同じ考えだったと思います。

先日、私の母校である九州学院で講演を行いました。そこで、「夢を抱くことの大切さを大人になって初めて感じている」という話をさせていただきました。自分が思い描く未来や、将来の夢をいつも持ち続けるということは、必ず現実になる。その過程でぶつかった困難を、どうしたら乗り越えられるのかを考えていく。これが大切なんだと。



そうですね。いくらこの学校で10年後、20年後を意識した教育を行っても限界があります。人生100年時代ですから、色々な困難や新たな問題に絶対ぶつかるはず。それらを克服していく土台づくりが、ここでのカギになると思います。だから、幅広く確かな知識、そして、深い教養を身につけなければなりません。そういったことがあれば、将来どんな世の中になっても、いろんな困難にぶつかっても乗り越えられるはず。それと、同級生や先生と一緒に頑張っていたという記憶も大事なのかなと思いますね。

先進性という部分では、制服の変化も関係があるのでしょうか？



世界で活躍する“さくらびと”が増えていく訳ですね。ここからはスタイルを変えてお話ししたいと思います。



和田会長、変化球できましたね（笑）



グローバルな人材は、ただ英語ができれば良いということではありません。やはり、日本の文化や伝統などをしっかりと学んで、世界へ向けて発信する。そして世界を渡り歩きながら訪れた国の良さを吸収する。さらに、AIやIT分野が進歩していくと、時空を超えて世界はもっと身近なものになっていく。日本だけで満足する若者をつくってはいけないと思うのです。



その通りだと思います。英語が話せるだけではなく、色々なところに身を置いて武者修行をしてくるようなことが、本当のグローバル人材の育成ですね。生徒会長さんは、正にその典型だと思うのですが？



武者修行してきたの？ 😲



夏休みを利用して、イギリスのケンブリッジ大学ペンブルックカレッジへ行って来ました。日本では味わえない経験を、たくさん学んで来ました。



実は、次年度にはニュージーランドへの3ヶ月の留学プログラムを予定しています。これは、文部科学省に承認をいただき、単位が認められるプログラムです。協定を結んだ学校へ3ヶ月間、現地の学校一校に一人だけの武者修行の留学です。



そして未来は、第5次産業革命と言われるAIやIT分野、さらにはバイオテクノロジーなどの融合によって、社会生活が大きく変わっていくと思っています。その変化した社会に対応できる人材育成。時代を先取りする教育が必要なのだと思います。



AIやIT分野では、去年、本校の卒業生でもあり、教育書・ビジネス書で毎年ベストセラーを連発している株式会社ミスターフュージョン代表取締役の石嶋洋平君にお願いをして、会社スタッフによる授業を定期的に展開してもらいました。





生徒会長さん。佐野日大高校に入学し、生活していく中でどんなことを感じていますか？



私は、まず、生徒会という組織に入れたことにすごく感謝をしています。私が思っていた高校生活は、JKって言われているので、たくさん出かけたり、遊んだりするイメージでした。でも実際には、益々勉強は難しくなり、人間関係も複雑になっていきました。でも、生徒会に入って活動したことで、一気に全校生徒と触れ合う機会を持つことができ、すごく成長できたなと感じることが多いです。今、生徒会は生徒主体の学校づくりを目指して活動しています。毎日が充実していて、生徒会がある日はワクワクしながら学校に来ているような感じです。

私も学校と同じように、北関東一の生徒会長を目指して、頑張っていきたいと思います。

学校の設備も、だいぶ整備されてきたと思いますか？



はい。生徒に直接関わる部分では、ご存知のように本校は従前とIT教育を行なっています。タブレットを取り入れているのですが、CBT（コンピューター ベイスド テスティング）にどんどん移り変わっていくことが分かっていますのでChromebookを導入しました。



私は機械を使うのが苦手だったんです。生徒会役員になって資料作りをする機会が多くなって、タイピングすることが増えました。慣れないうちは、正直困っていたんですけど、Chromebookでの資料作りをする中で、感覚というか身についてきて、今では画面を見ながらタイピングできるようになりました。これから先、社会に出た時も、絶対に役に立つと思っています。



タブレットだけではもうダメなんです。常に一歩二歩先で。😄



まあ、この分野はしばらくどんどん進歩するでしょう。



きっと当時は、まだ詰襟が多かった時代にブレザーに切り替えたと思うんですね。それはやはり、一つには本校の先進性というものをスクールユニフォームで体现すること。男子は詰襟よりも合理的だし、ブレザーは世界基準のデザインです。先進性と合理性の現れだと思うんですね。



県内でブレザーにしたのは、佐日が一番早かった。



コンピューターを導入したのも一番。

ワープロの導入も一番。



常に時代の先取りをしてきたわけですね 🤔



みなさん、急に若い！ 😲



そのバッジは？



あっ、元に戻った



生徒会役員がつけているんです。SNCって書いてあります。



生徒会の役員につけてもらおうバッジで、昨年作らせてもらいました。



おお～。それはいい！ 😊



バッジをつけているとシャキッとします！でも、冬服じゃないと付けられないので、早く冬服を着たいなと思ってしまいます。

これ、同窓会の50周年で記念に作ったバッジ。





松下村塾で学んだ人たちが、明治維新を成し遂げて今の近代日本を創り上げたわけです。そういう有意な人材を育て上げた場所。佐野日大高校をそういう学校にしたい。そして一番大事なのは、「立志は特異を尚(たつと)ぶ 俗流は与(とも)に議し難し...」。志をしっかり立てることが大事である。そして、100年という時間もあるという間なんだぞ。どうか無駄にすることなく頑張れというようなことなんです。



今手元に歴代の校長・副校長、PTA会長の一覧をまとめた資料があります。これを見るだけで身が引き締まります。今は名前があるだけですが、現在までの先生方の連綿とした努力。そして、生徒の皆さんと、どういう学校を目指そうかということ、一生懸命に話し合いながら、語り合いながら作ってきた歴史だと思えます。それを絶対に忘れることなく、これからの50年をどういう風に間違いなく導いていくか。先生方や生徒の皆さん、そして歴史をご存知の先生方、同窓会の会長さんをはじめ、皆さんのお話を聞きながら進めていきたいと思えます。

同窓会は運命共同体として、未来の50年に向けて共に発展していきたいと思えます。その為にも、多方面で活躍する同窓生(さくらびと)からの情報を集め、学校をサポートしていきつつ、若い世代の同窓生が気軽に参加できるイベント等も準備していきたいと思っています。

武仲会長さんをお願いがあるんですけど？



はい。何でしょうか？

卒業したら、同窓会の活動にみんなで参加してほしいな。



はい！ 😊



校内は強固なWi-Fi環境も整備されています。



日本一です！ 😊

おお～ 😊



さらに本校には、生徒がスケジュール管理や教材の入手をおこなったり、教務ソフトも入っている合理的な「デジタルキャンパス」というシステムがあります。さらに、一部で既に導入している、日頃の学習的な取り組みや体験などを記録できる「e-Portfolio」の全学的な導入に向けて準備を進めています。

高校時代にこういったいろんな経験しておく、新しいものに対して取り組む姿勢も養われると思うんですね。だから、いろんなことが起きても対応できるような。そういう生徒が育つんじゃないかなと思いますね。



設備の整備とは逸れますが、未来を志向すると同時に、過去を遡ってみることもすごく大切だと思います。理事長先生の指導のもと、自校史教育(自分の学校の歴史の教育)というものの準備を進めています。



佐野日本大学高等学校は、日本大学付属の学校であります。その精神を遡れば、学祖山田顕義先生、さらには、吉田松陰先生の松下村塾になります。そこまでしっかりと戻って、我々の立ち位置のルーツをしっかり見据えて、来し方、行く末を見るような子どもたちを育てたいですね。



夢があるから人の役に立つ仕事をする
 頑張れる。臨床心理士プロ選手
 団体で日本一！
 経済学を学び
 その経験を
 社会で活かす。

悩みは誰かが解決してくれることがあるけど
 夢は自分でしか叶えられないもの。警察官
 日本一
 応援される
 剣道部。

子どもの頃いっぱい
 あった目標の中で
 いちばん叶えたいもの。
 教諭さん小さい頃から
 佐日には挑んでいくこと。
 人工芝のサッカー
 グラウンドの完成

夢を実現した人たちは、
 実現できると思っていた。
 一生懸命に疑いを持たず
 頑張っていた。
 その姿を思い出しました。
 みんな輝いていました。
 アナウンサー
 夢が見えた時、
 ガラツと変わった。
 背筋がシャキッとして
 本当に楽しかった！

【緊急座談会】

ボクらの未来

校長先生・在校生・同窓生の教職員に聞きました
 夢は何ですか？ 夢って何ですか？

ない！とダラけてしまう。
 園出場!!
 甲子園!!
 甲子園出場
 後輩と共に
 12年かけて
 実現させた。
 いるんなつとも
 カタチがくつとも
 ある。いくつとも
 持っているもの。
 佐日の
 ダンス部
 顧問。

南の島でゆっくり生活したい。
 ひとつだけじゃない。
 自分自身を追い込む
 ようなものを目標として
 掲げているような気がする。
 努力すれば絶対に叶う！
 世界と戦う！
 楽しいな
 英語って
 英語って楽しいな
 英語って楽しいな
 英語って楽しいな

全国制覇!
 自分自身の夢も監督の夢も
 一緒に叶えること。

夢は自分自身を変えるきっかけ。
 夢があればどんどん変われる。



第26回 日・韓・中ジュニア交流競技会 平成30年8月25日・26日(韓国 麗水市)
 陸上競技1,500m 優勝【日本代表】
 樋口 翔太 Syota Higuchi [3年]
 三重県伊勢市で開催されたインターハイ陸上競技1,500m準優勝(日本人1位)を経て、韓・中・日ジュニア交流大会の日本代表に初選出される。「高校卒業後は大学・実業団と走り続けたいので、今度は日本人1位ではなく、日本一を目指したいと思います。そして「早くなる前に強くなれ」、「最強への挑戦・限界突破」という二つの言葉を心に刻み、世界で戦える選手になりたいと思います。」と話す樋口くんの今後の活躍が楽しみです。



平成30年度 全国高校総体(インターハイ) 平成30年8月9日~11日(三重県萱野アリーナ)
 第65回全国高等学校剣道大会 男子個人の部 優勝
 大平 翔士 Syoshi Ohira [3年]
 私が高校1年生の時、全国高等学校選抜大会で団体ベスト8。2年生では、インターハイで団体3位、個人準優勝。そして3年生のインターハイで、悲願の個人優勝を果たすことができました。監督の大関先生をはじめ、多くの皆様の応援や協力があったからこそ結果だったと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、私の夢である「警察官になること」で、色々な方々に役立てるよう恩返しをしていきたいと思っています。



創立50周年記念式典・祝賀会

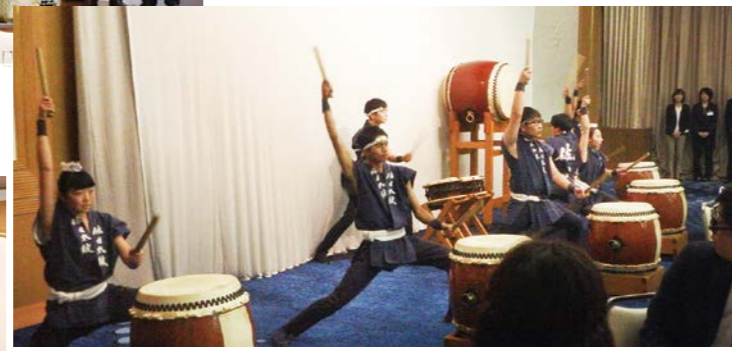


佐野日本大学高等学校同窓会
創立50周年記念式典・祝賀会

福田県知事もお越しくださいました。



50th Memorial Celebration



中等教育学校和太鼓部による演奏。



50周年を祝うにふさわしい、盛大な祝賀会となりました。



おめでとう!!



Sakurabito Vol.03でも紹介した吉野さんによる講演が、プラザ40でおこなわれました。



ネパールで心を改める



人生のターニングポイント



佐野日本大学高等学校同窓会 創立50周年記念講演会 記念式典・祝賀会

平成29年10月21日(土)、同窓会創立50周年を記念しておこなわれた、講演会及び記念式典・祝賀会の様子をご紹介します。

Schedule

- 記念講演会：プラザ40／11：00開会
Dari K 株式会社 代表 吉野慶一 氏（平成10年度卒業 第33期）
- 記念式典：ホテルサンルート佐野／14：00開会
- 祝賀会：ホテルサンルート佐野／15：00開会



記念式典では、各種表彰がおこなわれました。記念品は「Dari K」のチョコレート。

Sakurabito ビデオレター



記念講演会・祝賀会で放映したビデオレターを紹介します



同窓会創立 50 周年記念動画



【ファイルサイズ：86.3 MB】

講演会オープニング動画



【ファイルサイズ：76.9 MB】



50 周年記念メッセージ



【ファイルサイズ：93.1 MB】



スマートフォン等で、掲載のQRコードを読み込んでください。各動画が見られます。

田嶋 大樹 選手 [第49期生] がドラフト1位でオリックス・バファローズに入団!

野球部OBのサクラビト田嶋大樹選手(第49期生)が、ドラフト1位でオリックス・バファローズへ入団。即戦力左腕として期待を寄せています。高校3年時の第86回選抜高校野球大会では、初のベスト4に導き同窓生に多くの感動を届けてくれたことは記憶に新しいことと思います。卒業後はJR東日本へと進み、社会人No.1左腕とのよび声が高くエースとして活躍されました。プロの世界でどんな活躍を見せてくれるのか、とても楽しみです。

写真左：オリックスバファローズ入団発表記者会見にて
写真右：硬式野球部OB会創立50周年式典にて



桜友会活動報告

▼第40回チャリティーゴルフコンペ参加の皆さんと



第41回チャリティーゴルフコンペの様子 ▶

チャリティーゴルフコンペ

今年も多くの同窓生やPTAの方々にご参加いただき、開催いたしました。

第40回チャリティーゴルフコンペ
平成30年5月1日(火)
場所: 皐月ゴルフ倶楽部 鹿沼コース
<12組47名参加>

第41回チャリティーゴルフコンペ
平成30年10月4日(木)
場所: オリムピックスタッフ
足利ゴルフコース
<12組40名参加>

母校を訪ねる会

平成30年6月23日(土)母校の文化祭「顕桜祭」に合わせ、母校を訪ねる会を開催しました。昨年に続き、同窓会館でブースを出展しての開催です。同窓生たちの活躍を紹介する展示や、懐かしい先生や旧友との再会に笑顔の絶えない会となりました。



▲さのまるも来場してくれました



同窓会(桜友会)に関する情報は、下記ホームページでご確認いただけます。

佐野日大同窓会コミュニティ
<http://www.sanichi.info/>



編集後記

同窓会創立50年の節目に、同窓会 桜友会報「Sakurabito 記念号」を発刊しました。

テーマは、次の50年に向かって…。昭和39年創立当初の先生、浦田理事長。その生徒であった1期生の和田会長。また、母校を代表して渡邊校長先生、生徒会長。多くの生徒・教職員の皆さまにご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

座談会に参加していただいた生徒の皆さん、先生には多くの夢を語ってもらいました。これからの50年、生徒の皆さんは、今の私たちと同じ世代になっているでしょう。「Sakurabito 記念号」がタイムカプセルとなってくれることを望みます。 広報委員長 土澤 進一(9期生)

同窓会行事予定 [2019年から2020年]

2019年

- 5月(予定) 第42回 チャリティーゴルフコンペ
- 6月29日(土) 第26回 母校を訪ねる会(顕桜祭)
- 10月4日(金) 予定 第43回 チャリティーゴルフコンペ

2020年

- 1月18日(土) 同窓会総会
- 第24回 新春のつどい
- 第12回 還暦を祝う会
- 第2回 古希を祝う会

[会場] ホテルサンルート佐野 / 栃木県佐野市朝日町702-27 TEL.0283-24-5000

みなさんのご参加をお待ちしております

お問い合わせはSakurabitoメールまで sakurabito@sanonihon-u-h.ed.jp

卒業生の働く会社・店舗などの情報を募集しています！
自薦他薦を問わず随時募集中！

受付はコチラ



sakurabito@sanonihon-u-h.ed.jp

※皆様からいただいた卒業生の情報は、Sakurabito編集室にて検討のうえ掲載させていただきます。掲載されない情報もございますことを予めご了承ください。



誌面等で
紹介します！

同窓会の情報はコチラでご覧いただけます

佐野日大同窓会コミュニティー
<http://www.sanichi.info/>

同窓会facebook
<https://www.facebook.com/maru.sano.9>



支部の活動なども
紹介しています！



いいね！



最新の情報を
チェックしよう！



タブレット・スマートフォンからは、
QRコードよりご覧
になれます。

“さくらびと”の情報や同窓会の活動、母校の活躍などを“ホームページ”や“facebook”で発信しています。

同窓会からのお願い

「Sakurabito」を読んでいただいている卒業生の皆様へ。
同窓会では「同窓会年会費：3,000円」の納入を受け付けています。
この同窓会報も皆様の会費によって発行させていただいており、
卒業生の皆様にとって「再会」の場所となる同窓会に今後とも
ご協力をお願いいたします。



母校の応援に
大活躍！！

同窓会費を納入された方に
マフラータオルをプレゼント！

● 納入方法は、同窓会事務局へご連絡ください。

※デザインは変更になる
場合があります。

本誌掲載の個人情報は、本人の同意なく開示することはありません。また、私たち佐野日本大学高等学校及び同窓会ではその他の勧誘、ハガキの郵送は一切行っておりません。よって、出版社等を名乗る会社等から情報提供または代金振込みのハガキが届いた場合は、破棄していただくようお願いいたします。※誤って情報を提供してしまった場合、転売などの二次被害の恐れもあります。くれぐれもご注意ください。

Sakurabitoとは

「桜でつながる、人と人」母校のシンボルである「桜」と共に世代を超えた同窓生「人と人」がつながり合う同窓会報として生まれました。桜の花びらと一緒に表現されたつながり合うタイトルロゴは「再会」を表現し、私たちが過ごした母校の「現在・過去・未来」が詰まったコミュニケーション誌です。

